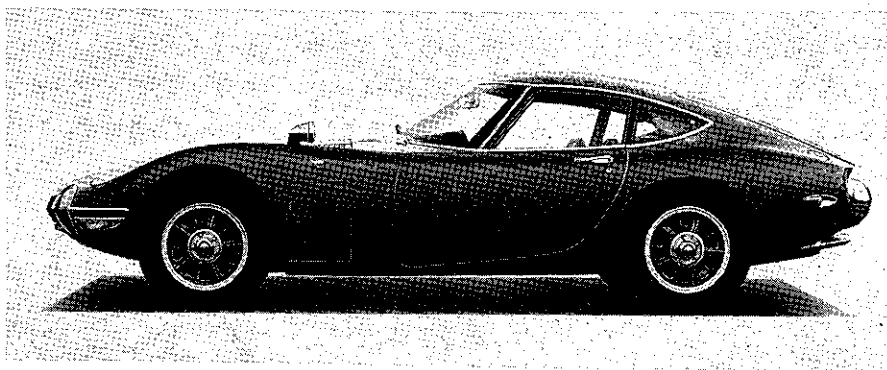


## ボデー関係



第104図

V2110

### ボデー概要

ボデー スタイルは、エンジン、トランスミッション、サスペンション機構等をコンパクトにおさめ、必要な室内寸法を確保しながら車高を低くして全体をなめらかな曲面でおおった空気抵抗の少ないファーストバックで、ウインドウ ガラス類にはオール曲面ガラスを使用し、ガラス、モール類は外板と段がつかないように工夫してあります。

ボデー各部には閉断面を用い、剛性の高いX型フレームとほぼリジットに結合することにより一段と剛性を高め走行安定性を向上しています。左右ドアの他、後部に大きなバックドアを設け荷物の出し入れを便利にしています。このバックドア ウィンドウには熱線入りガラスを使用し、ヒータのファン スイッチ ノブを引くことにより速やかにガラスのくもりを除くことができ、後方視界が確保できます。

シートはスポーティでスマートかつ安定性の良いバケットシートを新たに開発し、前後アジャストおよびリクライニングしろが大きく、ステアリング ホイールの前後調整とあいまって快適な運転姿勢が得られます。

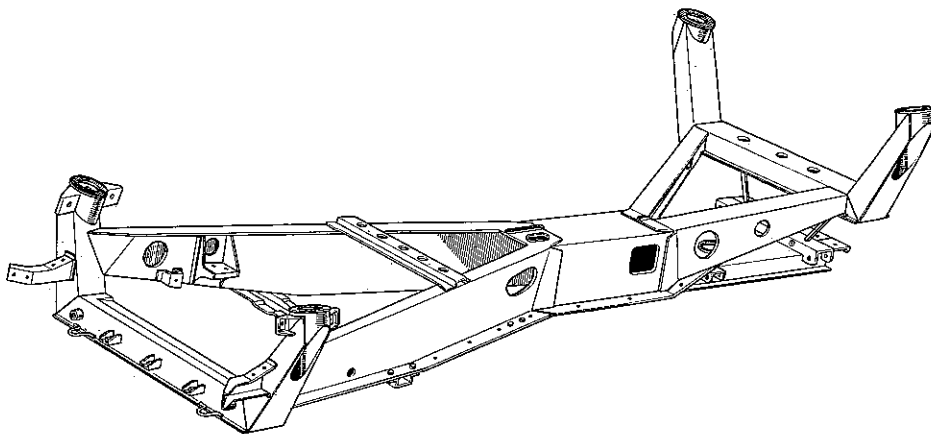
室内は黒色を基調としてまとめ、目を疲れさせないようにするとともに計器盤上面のパットを計器盤のひさしのように突き出し、ピラー、ヘッド等にもパット入りのトリムを取り付ける等安全性に対しての留意がしてあります。

# ボデー関係

## 1. フレーム

フレームは剛性の高いX型バックボーンフレームを採用してあります。

車高が低いためフレームのバックボーンが室内に高いトンネルをつくっていますが、これをコンソールとしてまとめアームレストとしても使用できるようにしてあります。



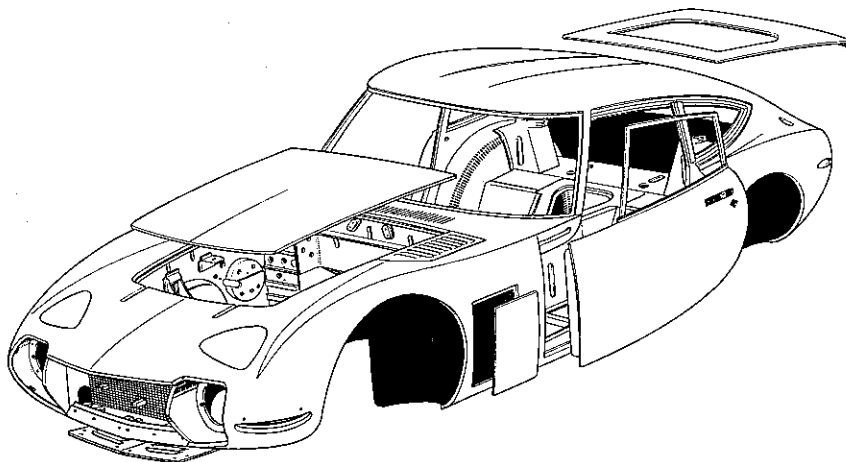
第105図 フレーム

Y5099

## 2. ボデー構造

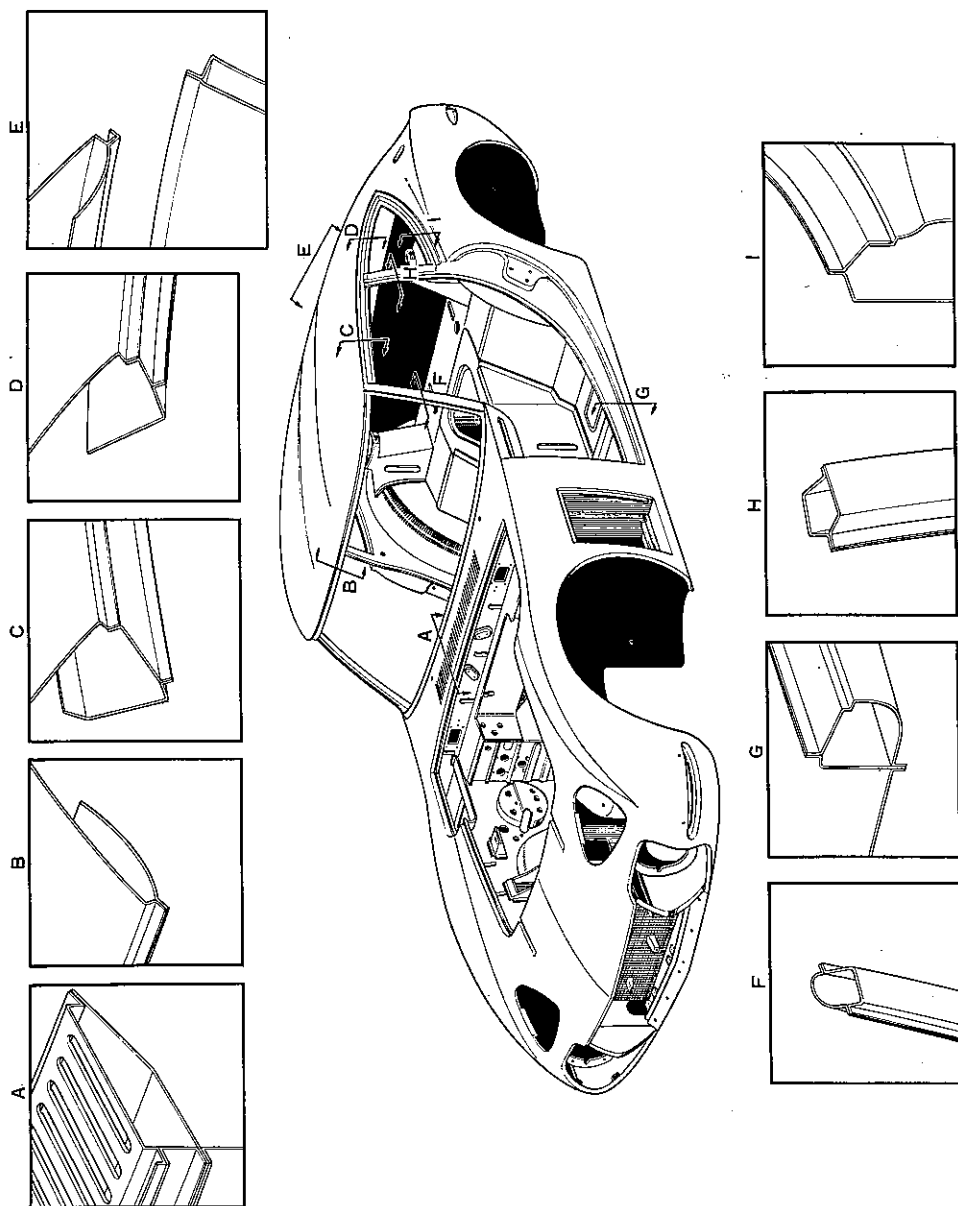
ボデーシエルは、各部に閉断面を用い剛性の高いものとしています。

また、フレームのフロントおよびリアのオーバーハングがほとんどありませんので、オーバーハングの部分の強度はボデー自体の強度でもたせるようにしてあります。



第106図 ボデーシエル

Y5091

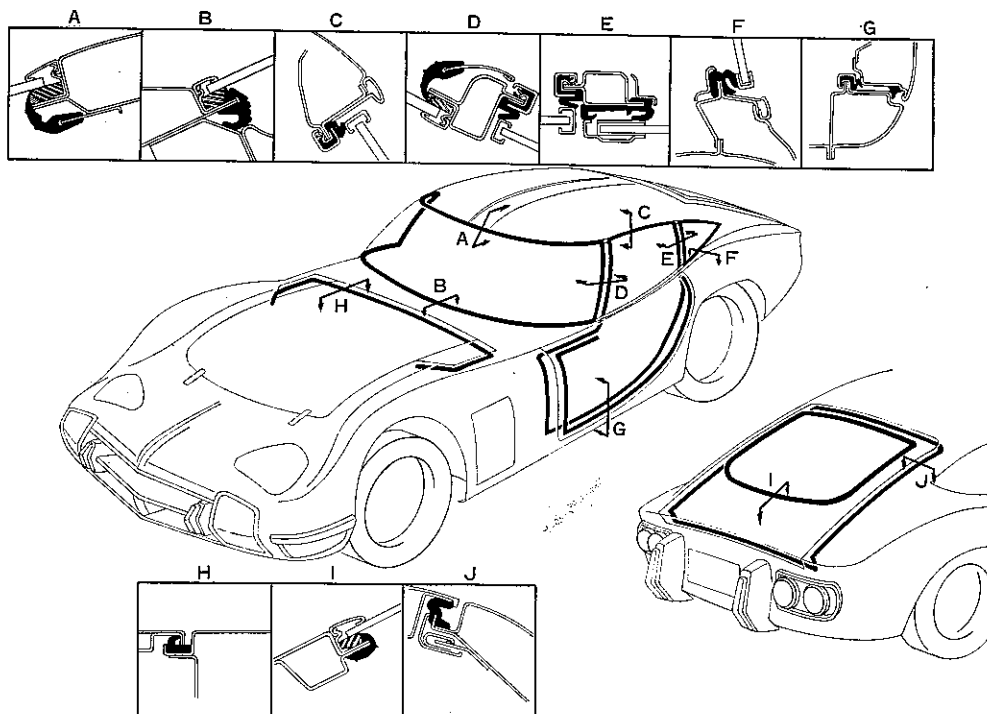


Y5092

第107図 ボデー主要部断面図

## ボデー 関 係

外板はなめらかな曲面を用い、ガラスにはすべて曲面ガラスを使用するとともに、ガラス、モール類の取付け方法に工夫をして接続部の段付きを少なくし、空気抵抗を極力減らすようにしてあります。とくに従来と異なつた方法を採用した個所はフロントおよびバックのウィンドウで、ガラスは接着剤を使用して直接ボデーに固定してあります。

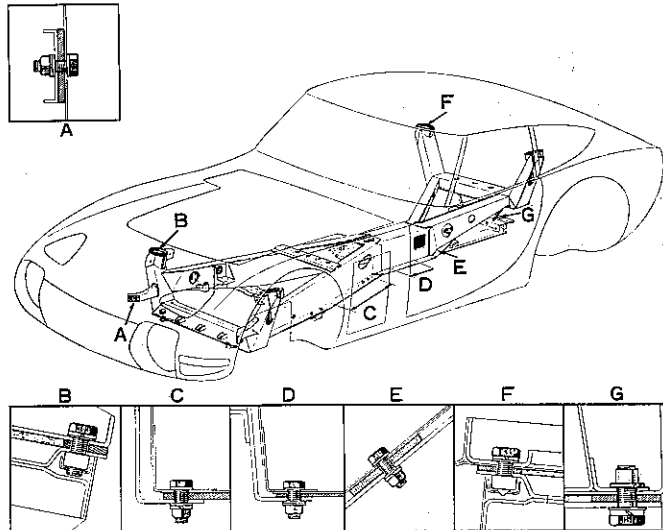


第108図 合わせ部断面図

Y5093

### 3. ボデー マウンティング

ボデーとフレームの結合は、ほぼリジットに行ない、剛性を高くして高速走行時、急旋回時等の走行安定性を高めています。



第109図 ボデー マウンティング

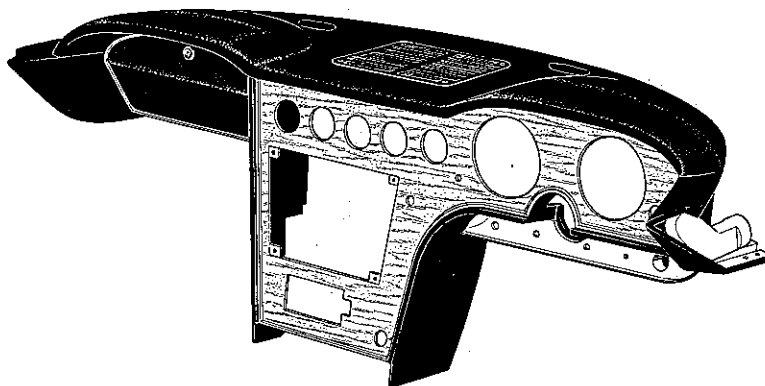
Y5094

### 4. インストルメント パネル

インストルメント パネル本体には新しい試みとして FRP (ガラス繊維入り強化プラスチック) を使用してあります。

上面パッドは柔軟で厚いものにするとともに、ひさしのように大きく張出して安全性に留意してあります。

また計器盤は木目張りとし、室内のダーク トーンとあいまって落ち着いたそれでいて豪華なふん囲気を出しています。



第110図 インストルメント パネル

Y5095

## 5. シ ー ト

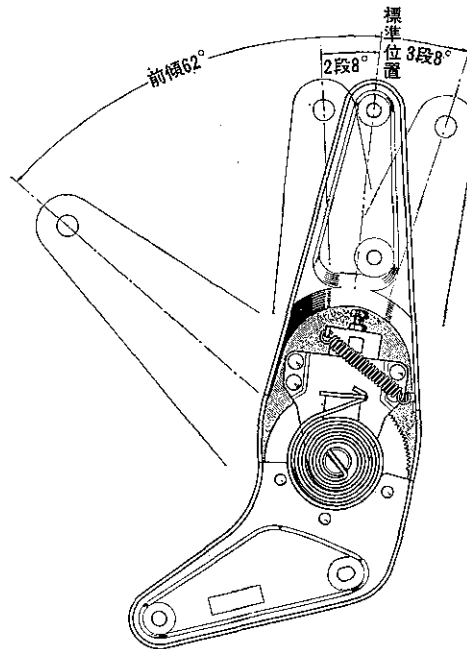
シートはスポーティで居住安定性のよいバケットシートで、前 60mm、後 80mm と前後調整範囲が大きく、シート バックの傾斜角度を微調整することができますので適正な運転姿勢が得られます。

なお、シート バック後傾角度はシートの前後位置により多少異なりますが、適正な運転姿勢を得るには影響ありません。

またシート バック後側にはポケットがあり、地図などを携行する場合便利です。



第111図 シ ー ト V2111



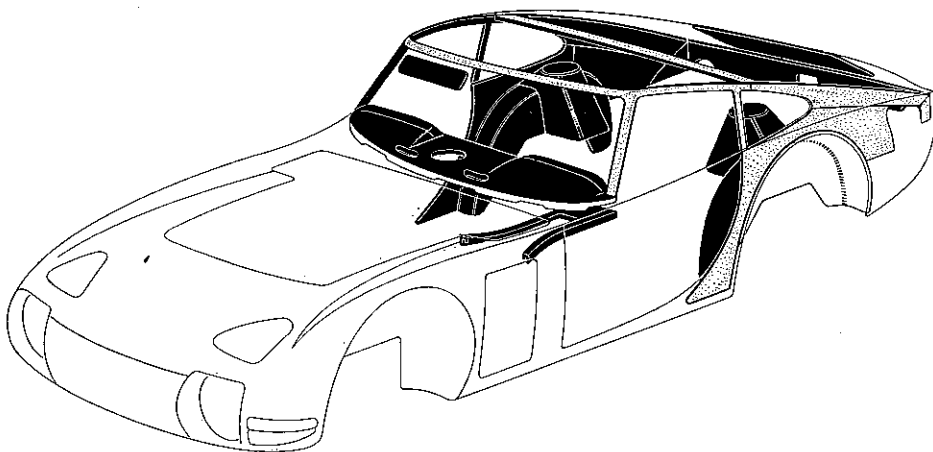
第112図 シートバック角度調整機構

Y5096

## ボ デ ー 関 係

### 6. セーフティ パッド

インストルメント パネル上面をはじめ、コンソール、パイザ、ピラー、ヘツダ等各所にセーフティ パッド、ウレタン フォーム製パッドのはいつたトリムを張り安全性を高くしてあります。



第113図 セーフティ パッド

Y5097

### 7. 外 板 塗 色

標準塗色には次の3色があります。

カ ラ ー No.	色 名	塗 料
1373-1	サンダ シルバ メタリツク	熱硬化性アクリル樹脂エナメル
1279-2	ソーラ レッド	メラミン樹脂エナメル
1374-2	ペガサス ホワイト	同 上

#### 補 修 塗 料

色 名	塗 料	乾 燥 方 法
サンダ シルバ メタリツク	熱硬化性アクリル樹脂エナメル	焼付け
	アクリル ラツカ エナメル	自然乾燥または焼付け
	ハイソリッド ラツカ エナメル	自然乾燥
ソーラ レッドおよびペガサス ホワイト	メラミン樹脂エナメル	焼付け
	ハイソリッド ラツカ エナメル	自然乾燥

## ボ デ ー 関 係

### FRP部品の補修塗装（焼付け）

サービス リツド カバーに FRP を使用してありますが、焼付け塗装するときは次のようにしてください。

塗料に低温硬化剤を3～6%入れて吹き付け、焼付け温度は約80℃ くらいまでとし、長時間かけて乾燥させます。